

2012 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 活動記録



記入日 2012年12月3日

実践団体名		柳井市立小田小学校		
連絡先		0820-22-0835		
プランタイトル		いつか来る 南海・東南海地震に備えて		
		番号*	詳細	
1 プランの対象者		2,3,8	本校の全校児童・教職員	
2 対象災害種別		1,2,3	東南海、南海地震等およびそれに伴って起こる津波 台風や暴雨による洪水や土砂災害	
3 プランの目的		2,4,6、 8,9	自助の心と共助の心を培う。 地震や津波、台風などの自然災害の仕組みや特徴を 知り、安全に避難できるようにする。	
4 協力・連携先		1,3,4、 5	学校支援ボランティアや学校運営協議会、下関気象 台、大島商船高等専門学校、大島防災センター	
5 プログラムの種類		4,5,6,7,8,9,10,11,14,16		
参考 先進 事例	活動年度	年	団体名	宮城教育大学附属小学校
	参考内容	教材、教具の開発 専門家による特別講義 体系化された防災教育の取り組み		

※ 赤枠は別紙「記入上の留意点」の各項目から選択し、記入してください。

地域特性に 応じたアレ ンジ・工夫点	学校が河口に位置していることから、地震のために起こる津波を対象とする。 近隣の防災センターに行き、地震や津波の実験や体験をする。 高専の教授に出前授業をしていただく。
実施スケジ ュール内 容・成果*	4月：校内研修の研究主題の決定、年間計画の検討・決定 5月：兵庫県舞子高等学校 諏訪清二様来校 6月：大島商船高等専門学校の教授による出前授業 6月：地域ふれあい参観日における救急法体験会（保護者対応） 1学期：3年、6年、特別支援学級2組の授業研究会 夏休み：親子料理教室における防災クッキング 10月：料理クラブ等における防災クッキング 10月：兵庫県舞子高等学校 諏訪清二様来校 10月：「避難経路を歩いてみよう」（全校児童対象）
全体の反 省・感想・課 題	・どの学年の児童も下地がなく、1年目であったため、系統性をもって指導することができなかった。今後、続けて指導していく中で、系統性のある防災教育計画を作る必要があると感じている。
今後の継続 予定	・防災訓練前後の各学級での指導の徹底及び終了後の教師による振り返りの会の実施 ・6年間を見通した系統性のある小田小学校防災教育計画の作成

2012 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 活動記録



【実施スケジュール詳細】

4月：校内研修の研究主題の決定、年間計画の検討・決定

→主題「自ら考え、判断・行動できる児童の育成～防災教育を通して～」

- ・ 各学級で年1回以上の防災教育授業研究発表
- ・ 各学年の防災教育年間計画の見直し

5月：兵庫県舞子高等学校 諏訪清二様来校

→校内視察、避難訓練について指導（校長、教頭対象）

講義「防災教育の考え方と進め方」（全教職員対象）

5月：避難訓練（地震・津波対応）

→下関气象台の方を講師として派遣依頼

6月：大島商船高等専門学校の教授による出前授業

→上学年、下学年それぞれ1時間ずつの授業（全校児童対象）

6月：地域ふれあい参観日における救急法体験会（保護者対応）

1学期：3年、6年、特別支援学級2組の公開授業・協議会

夏休み：親子料理教室における防災クッキング

→栄養教諭、栄養士並びに本校教職員、希望児童及び保護者が参加

10月：料理クラブによる防災クッキング（火おこし→ご飯、味噌汁作り）、探検クラブによるパン作り（火おこし→パン作り）

10月：兵庫県舞子高等学校 諏訪清二様来校

→公開授業（4年総合）

授業協議と講義「防災教育の考え方と進め方Ⅱ」（全教職員対象）

10月：「避難経路を歩いてみよう」（全校児童対象）

→・地域の方と一緒に（6年生が1年生の手をひいて）

11月：避難訓練（火災対応）

2学期：1年、4年、5年の公開授業・協議会

下関气象台の方をお招きして避難訓練（5月）

大島商船高等専門学校出前授業（6月）



**2012 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)
活動記録**



A large, empty rectangular box with a thick blue border, intended for recording activities.

2012年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)

活動記録 記入上の留意点



活動記録の作成にあたり、赤枠の項目について、以下を参照し該当番号を記入し、具体名称等を詳細欄に記入をお願いします。

「その他」を選択した場合は、詳細欄に具体内容を記入してください。

1. プランの対象者について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	幼児・保育園児・幼稚園児	8	教職員・保育士等	15	高齢者
2	小学生(低学年)	9	保護者・PTA	16	海外
3	小学生(高学年)	10	地域住民	17	防災関係者
4	中学生	11	社会人・一般	18	全ての人々
5	高校生	12	女性	19	その他 ()
6	大学生	13	障がい者		
7	外国人留学生	14	養護学校児童生徒		

2. 対象災害種別について

	項目		項目
1	地震	5	不審者・犯罪被害
2	津波	6	火災
3	水害	7	災害全般
4	火山噴火	8	その他 ()

3. プランの目的について

	項目		項目
1	遊び・楽しみながらの防災	6	防災に関する知識を深める
2	防災に役立つ資料・材料づくり	7	技術を身につける
3	災害に強い地域をつくる	8	防災意識を高める
4	災害を想定した訓練	9	災害対応能力の育成
5	災害を疑似体験	10	その他 ()

4. 協力連携先

	項目		項目
1	学校・教育関係	6	企業・産業関連の組合等
2	同窓会組織	7	ボランティア団体・NPO法人・NGO等
3	保護者・PTAの組織	8	職業、職能団体
4	地域組織	9	学術組織、学会等
5	国・地方公共団体等	10	その他 ()

5. プログラムの種類について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	イベント・行事	7	学校内クラブ活動	13	体験学習
2	講習会・学習会・ワークショップ	8	その他学校内での時間	14	読書・絵本・読み聞かせ
3	講演会・シンポジウム	9	校外学習・移動教室	15	演劇
4	総合的な学習の時間	10	家庭学習	16	避難・防災訓練
5	教科学習	11	出前授業	17	その他 ()
6	学級活動	12	研究		